

地域とともにある

勢いのある学校

No. 3 (R3. 4. 20発行) 文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

明日の自分は 今日自分がつくる

「神様は乗り越えられない試練は与えない」

先日行われた水泳日本選手権の100mバタフライで、東京オリンピックの出場権(出場種目は400mメドレーリレー)のバタフライを得た池江璃花子選手の、涙ながらのインタビューを見ながら私が思ったのがこの言葉です。池江選手はその後の種目でも復帰後の記録をどんどん更新し、結果的にはこの大会で四冠に輝きました。400m自由形リレーでの東京オリンピック出場権も得ることができました。

復帰直後のやせ細った体、スタート台から飛び込むこともできない姿を見たときは、東京オリンピックには到底間に合わない、次のオリンピックで活躍してくれればと思っていたので、「本当に凄い！信じられない！」という思いです。白血病という試練を自らの力で乗り越え、私たちに大切なことを伝えてくれたのだと感じました。

闘病中、そして復帰後の練習の中で池江選手がどんなことを考えていたのか知りたくなったので、ネットで調べてみました。すると、「神様は乗り越えられない試練は与えない」…私が感じたのとまったく同じ言葉を池江選手も発言していたのです。やはり、この言葉を自分自身に言い聞かせながら、苦しい闘病に耐え、復帰後の厳しい練習を頑張ってきたのだということが分かりました。

池江選手は、この言葉以外にも、様々な言葉で自分の気持ちを表現していたことが分かりました。その中の一つに、「私が日頃から子供たちに伝えたいと思っていること」とつながる言葉があったので紹介します。

ちょっとだけ違った行動や考えで運命や未来が変わると思っている。だから、今のこの瞬間をどう生きるか、どう大切にしていかが自分の人生、誰の人生においても大切なことだと思う。

上の言葉につながると感じた「私が日頃から子供たちに伝えたいと思っている」のは次の言葉です。

明日の自分は 今日自分がつくる

今日、考え・判断し・行動したこと。そしてその経験と結果から自分が得たこと、考えたこと。それらが次の日の自分の考え・判断・行動につながる。その繰り返しで少しずつ少しずつ成長していく。私は、そんな気持ちや姿勢を子供たちにもってほしいと日頃から思っているのです。一日一日をただ漫然と生きていたのでは成長にはつながりません。ましてや、マイナスの思考やマイナスの行動をしていけば後退してしまいます。一步前進する、少し向上する、ひとつできるようになる、どんな出来事もプラス思考で捉える、そんな考えを持ちながら、今を大切に生活することで自分の未来や運命を自分で作り、切り開いていってほしいと願っているのです。

20歳という若さで、上のような発言ができる池江選手は、やはり凄い選手、いや、凄い人です。世界で通用するようなことを成し遂げる人はやはり何かが違う、とも感じました。そんなことを改めて考える機会をくれた池江選手の、東京オリンピックでの活躍、その後ますますの飛躍を願わずにはいられません。そして、その姿から、またたくさんのことが学べるだろうと楽しみにしています。

本校の子供たちにも何らかの機会に池江選手の姿から学べることを伝えていければと思っています。